

「どうする二宮・大磯」① 10月

少子高齢化が進む中で緩やかな地盤沈下が続く二宮。テレワークの広がりもあって、人口減少のテンポは鈍っているものの、高齢化、要支援・要介護などの課題を抱え、次代への対応を迫られる。県住宅供給公社を再建し、県西地区の再興とも深くかかわる講師が、新生二宮のキーワードとして「アンチエイジング」を提案する。年末までの4回シリーズ「どうする二宮・大磯」の第1弾。第2、第3弾は村田・二宮町長、池田・大磯町長(11月)。

二宮への提案 長寿の町から

アンチエイジングの町へ



10月7日(土) 10:00~12:00



町民センター 2A クラブ室

講師 猪股篤雄 神奈川県政策顧問

(元県住宅供給公社理事長)

参加費 500円 定員 50名

共催 元気なコミュニティ協議会 (一社)海鈴大磯

Web 申込み	メール申込み	問合せ
	 gakusyu@gen-comi.jp お名前をご記入ください。	080-8445-6947 (山本)

二宮町地域生涯学習振興補助事業